

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

I. Kake村の湧水保護設備の建設 (カメルーン)

- 実施団体: Bridgers Association Cameroon (#047)
- 費用: 1,205ドル (JWFファンド1,000ドル、団体205ドル)
- 受益者数: 1,000人
- 実施地の水問題:

対象のKake村には水道がなく、女性や子どもたちは村から900M離れたため池まで40分以上かけて水を汲みに行っている。子どもたちは水汲みのために学校に通うことができず、人々は汚れた水に起因する病気の治療にお金を費やす。この水源は水汲み場として整備されていないため、周辺は衛生的な環境ではなく、動物もこの池の水を飲んでおり、汚染されている。



住民が水源として利用していたため池



申請団体のWASHマネージャーによる調査

- 主な活動内容: 湧水保護設備の建設と周辺の整備、プロジェクト説明会、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策に関する啓発活動、設備の使用と安全な水に関する啓発活動、維持管理委員会と基金管理委員会の設立、設備の維持管理と資金管理に関するトレーニング、水質検査の実施等
- 持続性: 建設した湧水保護設備の維持管理は維持管理委員会が行い、修理等が必要な際は基金管理委員会に報告し対処する。

これらの活動により、飲み水の水源が改善され、住民の生活環境の向上が期待される。

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

I. Kake村の湧水保護設備の建設 (カメルーン)

実施中の様子



COVID-19対策に
関する啓発活動



湧水保護設備の建設

現場からの声 (抜粋)



Alima Appolinaireさん
(77歳、Kake村の村長)

村長として、Bridgers Association Cameroonと日本水フォーラムの取り組みを非常に嬉しく思っています。水は命です。永遠に感謝します。

実施後の様子



完成した湧水保護設備



完成した湧水保護設備



Mvilongo Sebastienさん
(48歳、農夫)

地域リーダーとして若手の代表を務めています。NGOからの支援を受けることは初めてでした。修繕した湧水保護設備が維持管理され、持続可能なものになるように最善を尽くします。